



2021年10月15日

各 位

会社名 株式会社ビーアンドピー
代表者名 代表取締役社長 和田山 朋弥
(コード番号：7804、東証マザーズ)
問合せ先 取締役 清水 明
(TEL. 06-6448-1801)

上場調達資金使途変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2019年6月19日付「有価証券届出書」、2019年7月4日付及び2019年7月12日付「有価証券届出書の訂正届出書」における、2019年7月24日の新規上場において調達した資金の使途及び充当予定時期の一部を変更することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 変更の理由

主として新型コロナウイルス感染症の影響により経営環境が変化したこと、及び、新型コロナウイルス感染症の影響から国内経済が回復基調にあるなかで新規事業とM&Aを推進し、積極的に成長のための投資に資金を集中していくため、資金使途の変更及び充当予定時期の一部延長をさせていただきます。

① 設備投資資金

新型コロナウイルス感染症の影響により2020年4月以降の受注状況が大きく変化したため、一時的に設備投資を抑制しました。また、生産のオートメーション化を推進するための方策について、各種の情報収集を進め、当社にとって最適な方法を検討しております。今後国内経済が回復傾向にあることから、あらためて2022年10月期以降積極的に設備投資を進めていくため、資金使途の変更及び充当予定時期の延長をさせていただきます。

② 新規拠点設立費用

営業エリアを拡大するため、2019年4月に福岡営業所、2019年10月に名古屋営業所を開設いたしました。その後発生した新型コロナウイルス感染症の影響により経営環境が変化したため、当面は福岡、名古屋両拠点における販売シェア拡大に注力

いたします。このため、資金使途の変更をさせていただきます。

③ ECサイト用ITシステム構築費用

地域密着型の対面営業に加えて、Webマーケティングを活用して受注を拡大・強化するため、ITシステム専門部署を設置し、Webサイトの企画・作成や、データ解析の内製化を進める予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により経営環境が変化したため、ITシステムへの投資については効率的な生産体制を構築するための生産のオートメーション化を優先的に進める方向で検討しております。このため、資金使途の変更をさせていただきます。

④ 成長のための投資資金

当社は、かねてよりM&A戦略を推進する方針で継続的に各種情報収集や調査を実施しておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響による外部経済環境の変化により、景気動向や業界を取り巻く状況を注視しておりました。

また、事業基盤の拡大、中長期的な成長を目指して、2021年10月期よりデジタルサイネージ事業、インターネット通販サポート事業をそれぞれ開始いたしました。

今後新型コロナウイルス感染症の影響が収まり、国内の経済が回復することが期待されるなかで、積極的に成長投資を行い、新規事業とM&A戦略を本格的に推進してまいります。これに伴い資金使途の変更及び充当予定時期と金額の変更をさせていただきます。

なお、M&Aに関して、現時点において具体的に決定している新規の投資案件はなく、企業価値の向上に繋がる投資先が見つからないなどの理由により投資が実施されない場合には、新規拠点設立費用、設備投資資金、新規事業資金に充当する予定です。

2. 変更の内容

資金使途の変更の内容は以下の通りです。変更箇所には下線を付しております。

(変更前)

具体的な使途	充当予定時期	金額 (千円)
①設備投資資金	2019年10月期	<u>21,800</u>
	2020年10月期	<u>36,500</u>
	2021年10月期	<u>51,700</u>
	2022年10月期	<u>50,000</u>
	計	<u>160,000</u>
②新規拠点設立費用	2019年10月期	<u>13,000</u>
	2020年10月期	<u>54,000</u>
	2021年10月期	<u>64,000</u>
	計	<u>131,000</u>
③ECサイト用ITシステム構築費用	2019年10月期	<u>10,000</u>
	2020年10月期	<u>20,000</u>
	2021年10月期	<u>10,000</u>
	2022年10月期	<u>10,000</u>
	計	<u>50,000</u>
④成長のための投資資金 (M&A)	2020年10月期	<u>100,000</u>
	2021年10月期	<u>100,000</u>
	計	<u>200,000</u>
	合計	541,000

(変更後)

具体的な用途	充当予定時期	金額 (千円)
①設備投資資金	2019年10月期	<u>15,200</u>
	2020年10月期	<u>29,100</u>
	2021年10月期	<u>21,200</u>
	2022年10月期	<u>45,780</u>
	2023年10月期	<u>34,800</u>
	計	<u>146,080</u>
②新規拠点設立費用	2019年10月期	<u>9,520</u>
	2020年10月期	<u>33,430</u>
	2021年10月期	<u>35,560</u>
	計	<u>78,510</u>
③ECサイト用ITシステム構築費用	2019年10月期	<u>2,450</u>
	2020年10月期	<u>12,710</u>
	2021年10月期	<u>14,750</u>
	2022年10月期	-
	計	<u>29,910</u>
④-1 成長のための投資資金 (新規事業)	2021年10月期	<u>26,500</u>
	2022年10月期	<u>33,300</u>
	2023年10月期	<u>25,700</u>
	計	<u>85,500</u>
④-2 成長のための投資資金 (M&A)	2020年10月期	-
	2021年10月期	<u>1,000</u>
	2022年10月期	<u>200,000</u>
	計	<u>201,000</u>
	合計	541,000

3. 当期業績への影響

本件資金用途の変更が当社の当期の業績に与える影響は軽微であります。

以上